
日本の歴史文書にもとづく定量的気候復元

三上岳彦

17世紀以降の古日記に記載された毎日の天候記録と15世紀以降の諏訪湖結氷記録を用いて、日本における定量的気候復元を試みた。その結果、東京では、18世紀の夏季気温が現在よりも1～1.5度低かったこと、また冬季気温は1600年代はじめに現在よりも1～1.5度低かったと推定される。これらの結果を、年輪分析や湖底堆積物による古気候復元結果と比較することが重要である。

東京都立大学理学部
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
Tokyo Metropolitan University,
Minami-Osawa 1-1, Hachioji, Tokyo, 192-0397 Japan